



山の谷川では、どんな虫がとれるの、どう探すといいの

谷川でも、すみ分けしている

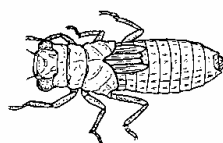
山の谷川は、水が冷たくきれいですが、流れが速いのが特長です。そのため、流されないように、岩などに吸ばんで吸いついていたり、はりついたりしているものが多くみられます。小さい滝の近くの岩はだや石の上には、ブユやアミカの幼虫が、腹にある吸ばんではりついていたり、小石を集めた小さなかたまりがくっついていたりしています。この小石のかたまりの中には、ヤマトビゲラなどの幼虫が入っています。

流れが速い所は、石をめぐってみよう

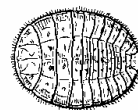
川がカーブする、流れの速い所の石をめぐってみると、石の間に平たくはりついたムカシトンボのヤゴや、石の表面にはりついたヒラタドロムシの幼虫やヒラタカゲロウの幼虫、黒くて細い角のような形のつつに入った、クロツツビゲラの幼虫などがいます。

流れのゆるやかなふちは、こん虫のかくれ場所

川の流れがくぼんで、ゆるやかになっている所などは、川底に砂や落ち葉がたまっています。底の落ち葉をかき分けると、ヤンマやサナエトンボ、カワトンボの仲間のヤゴがはいまわっています。また、落ち葉をはり合わせつつや、小さい砂つぶを集めたつつに入ったカワゲラの幼虫などがみつかります。水底の落ち葉が食いあらされたようになっていたら、葉を食べるガガンボの幼虫が見つかります。(監修・中山 周平)



ムカシトンボの幼虫



ヒラタドロムシの幼虫



クロツツビゲラの幼虫



トワダカワゲラの幼虫

